

大阪府特殊詐欺対策審議会 (第四回)

～特殊詐欺等被害の現状について～

令和6年10月21日
大阪府庁災害対策本部会議室

手口別認知件数について

令和6年10月21日
大阪府特殊詐欺
対策審議会資料

手口別認知件数

※令和4,5年は確定値、令和6年は速報値

認知件数	令和6年 (8月末)	令和5年 (8月末)	増 減		令和5年中	令和4年中	増 減	
			件数	増減率			件数	増減率
特殊詐欺全体	1,741	1,865	-124	-7%	2,656	2,064	+592	+29%
オレオレ詐欺	178	81	+97	+120%	117	117	0	-
預貯金詐欺	61	314	-253	-81%	408	328	+80	+24%
架空料金請求詐欺	456	482	-26	-5%	701	275	+426	+155%
融資保証金詐欺	13	5	+8	+160%	7	11	-4	-36%
還付金詐欺	835	629	+206	+33%	948	984	-36	-4%
金融商品詐欺	8	2	+6	+300%	3	1	+2	+200%
交際あっせん詐欺	1	0	+1	-	0	1	-1	-
ギャンブル詐欺	1	0	+1	-	0	3	-3	-
その他の特殊詐欺	41	0	+41	-	4	0	+4	-
キャッシュカード詐欺盗	147	352	-205	-58%	468	344	+124	+36%

※令和5年から架空料金請求詐欺にサポート名目詐欺を計上

手口別被害金額について

令和6年10月21日
大阪府特殊詐欺
対策審議会資料

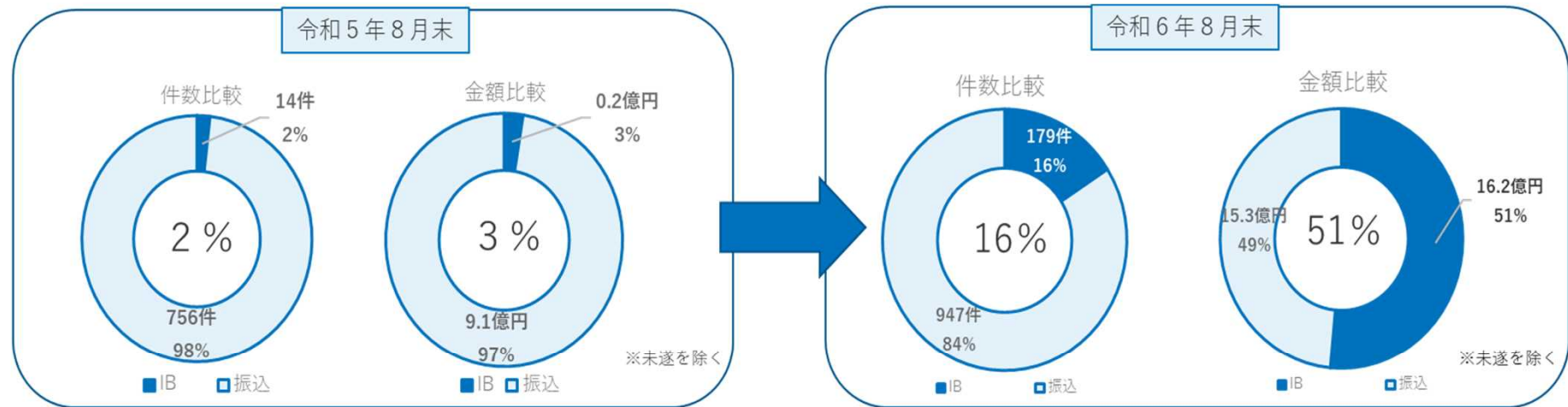
手口別被害金額

※令和4,5年は確定値、令和6年は速報値。被害金額は、千の位を切り捨てた額を示す。
※被害金額は、キャッシュカード手交型及び窃取型の特殊詐欺におけるＡＴＭ引出（窃取）額を含む。

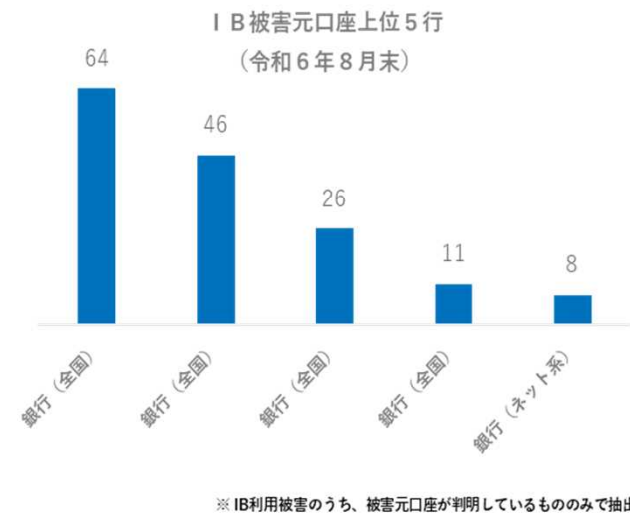
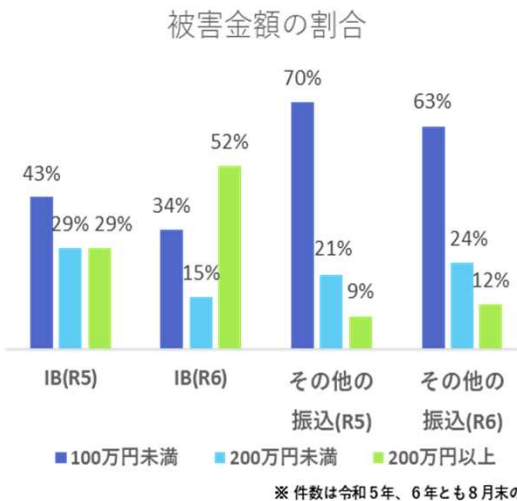
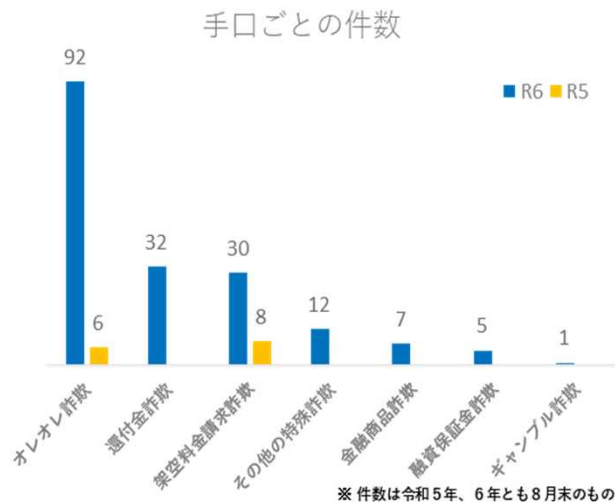
被害金額(千円)	令和6年 (8月末)	令和5年 (8月末)	増 減 (千円)	増減率	令和5年中	令和4年中	増 減 (千円)	増減率
特殊詐欺全体	38億7,944万円	24億3,648万円	+14億4,296万円	+59%	36億6,140万円	31億8,614万円	+4億7,525万円	+15%
オレオレ詐欺	15億304万円	3億3,645万円	+11億6,659万円	+347%	6億2,121万円	3億8,801万円	+2億3,320万円	+60%
預貯金詐欺	4,946万円	2億9,658万円	-2億4,712万円	-83%	4億1,666万円	3億8,817万円	+2,848万円	+7%
架空料金請求詐欺	8億794万円	6億9,223万円	+1億1,570万円	+17%	10億4,577万円	8億4,828万円	+1億9,748万円	+23%
融資保証金詐欺	1,366万円	1,247万円	+118万円	+9%	1,535万円	2,187万円	-651万円	-30%
還付金詐欺	11億3,414万円	6億1,365万円	+5億2,049万円	+85%	9億6,485万円	10億3,874万円	-7,388万円	-7%
金融商品詐欺	5,621万円	1,965万円	+3,656万円	+186%	2,455万円	2,700万円	-245万円	-9%
交際あっせん詐欺	10万円	0	+10万円	-	0	1,015万円	-1,015万円	-
ギャンブル詐欺	1,288万円	0	+1,288万円	-	0	1,150万円	-1,150万円	-
その他の特殊詐欺	1億1,460万円	0	+1億1,460万円	-	1,320万円	0	+1,320万円	-
キャッシュカード詐欺盗	1億8,737万円	4億6,542万円	-2億7,804万円	-60%	5億5,979万円	4億5,240万円	+1億738万円	+24%

インターネット・バンキング（IB）の現状について

令和6年10月21日
大阪府特殊詐欺
対策審議会資料



令和5年と比較すると、件数、被害額共に数パーセントであったが、令和6年では件数、被害額共に増加している。
令和6年において、件数で見ると、インターネット・バンキング（以下IBという。）の割合は2割弱であるものの、被害額で見ると5割強を占めている。



IBによる被害が多い傾向にある令和6年においてはオレオレ詐欺が最多であり、次に還付金詐欺となっている

IBは200万円以上の被害金額がその他の振込に比べて大きい。その他の振込は200万円未満の被害金額が約9割を占めている。

IBを利用した被害元口座では、大手金融機関が上位を占めている。